

パブリックコメントに対する意見一覧 令和4年（2022年）10月3日正午時点

計画全般に関するご意見（9件）
今回のパブリックコメント資料（2022年版）を拝見しますと やはり 一般的市政方針に見え、タイトルに他の自治体の名前を付けても見えそうです。 市内の学生をはじめ多くの市民の参画を得て纏められたようですが、日常の改善希望点が多いようです。これは一般的傾向ですが纏め方に工夫が必要です。 新たなデザインコンセプトは未だ創出できていないように見えます。
未来デザインコンセプトを作り上げるために 中心となってPJを引っ張るプロのクリエイター、Plannerが必要と思います。立川、町田などとは違う八王子の未来コンセプト像を市民全員で共有したいですね。
八王子市の人口推計、将来予測を観ると、全てが喫緊の課題と言えますが、各施策の策定と実現化を行う各担当部署に、横断的・総合的に判断し、適所に渡したり即決のできる仕組みを作って対応して頂きたいと思います。市民参加の余地はそこにもあるように考えられます。
ビジョンなので総花的になるのは仕方ないと思いますが、それにしても柱が分かりにくいですし、現状や過去からのトレンドから今後どんな問題が起きていくのかを分析した上で、どの分野に注力しようとしているのかが分かりにくいです。 例えばですが、社会動態は、2～3000人の増加が続いていますが、この要因が例えば不動産価格が下がったことで若者世代が増えているのなら、子育て支援をさらに増強しつつ、手ごろな不動産価格をPRして流入を促すとか、高齢者が増えているのなら、お金を落としてもらえるような高級ケアハウスを誘致することで税収と雇用の創出を推進する等の検討ができると思います。 自然動態は、死亡数が増えているのは高齢化によるものと思われるので、空き家が増えそうならその対策が必要だと思うし、それよりも出生数が減少傾向にあることが問題で、これは国内の平均より良い悪いじゃなく、大都市のベッドタウンである八王子市は、率先して子育て世代支援を打ち出すことで、明石市よりもポテンシャルはあると思うので、成果は出せると思います。
恐らく、複数の利害関係者を交えて策定されたと思いますが、右肩上がりじゃない現状を踏まえると、一人か少数のリーダーが不平不満を買いつつも、今やっていることをバツサリ捨て、推進すべき重点項目を明確にして、そこだけに注力するしかないと思います。■■■■市みたいに余裕がないわけじゃないので、今のうちに斬新な改革を望みます。
市民を始め多くの人と時間をかけて策定した努力は認めますが、残念ながら評価が難しい内容です。年初より様々な情報提供いただく中で、私見ですが地域の計画づくりの要諦は ・泥臭く ・分かりやすく ・覚えやすく ・美しく と思うようになりました。
基本計画では「都市像」「みんなで目指す2040年の姿」「未来」さらには「カーボンニュートラル」(2050政府目標)など錯綜する時間軸の中で2030年長期ビジョンとの相関が分かりにくくなっています。実際に施策では最新の目標である「みんなで目指す2040年の姿」ではなく、多くを「都市像」と関連づけるという混乱が生じています。
施策37に対応する細施策108項目は具体的実行計画に最も近いにもかかわらず、よい意味での「泥臭さ」が全く感じられません。これからの8年間、この108項目が市民の記憶に留まる努力目標となり得るのでしょうか。「みんなで目指す2040年の姿」もあわせてこの表現はSDGsで展開された手法の模倣であり、今では既に陳腐な表現だと思います。「細施策」はSDGsの17Goal 169Targetを避ける表現法としての苦肉の策と感じられます。
美しくについては、語彙、表現力、論理性が不十分だと思います。安易にイラストや画像で逃げるのではなく、まず分かりやすい文章で伝える力を磨いていただくように期待しています。例えばパブリックコメント124市の考えにおけるwantsとneedsの誤った理解や同126の「自律」と「自立」の混同、更には「検討の方向性」という曖昧な言葉など論理の詰めの甘さが感じられます。

策定手法に関するご意見（3件）
第6回懇談会3の意見「市が決めたルールに乗っている」には同意せざるを得ません。発車した列車は進路変更が難しいのではなく、変更自体が既に不可能という印象があります。なお市民が閲覧できる懇談会議事録ではフォーマットの半分近くが定型項目で肝心の意見は短い上に見にくく、発言者への敬意があまり感じられません。これを見ると懇談会の発言はさもありなんと思います。
前回のパブリックコメント124でも申し述べましたが、「みんなで目指す2040の姿」を目標としたことが失敗だったと思います。あくまでも市民の願望、期待に留めるか、さもなければせっかくの膨大な市民の期待(wants)をもっと論議を尽くして、より本質的な必要性(needs)を見極めて、参加者が共有することができたらよかったと思います。その意味ではワークショップにおけるリーダーシップが十分発揮されたのか、疑問が残ります。この初期段階のつまづきが大きく影響したように思います。
数ヶ月前にあった「広井教授解説のシミュレーション」や今回同時実施するアンケートは、見せかけの努力「やってる感」につながりかねませんので、十分留意して対応されるよう望みます。

基本構想に関するご意見（1件）
2012年度版基本構想作成ステップに於いて少し課題を残したと思います。 ブランドメッセージ”あなたの道を 歩けるまち 八王子”はイメージづくりの一側面として効果的と思います。 一方で6つの基本方針が急に一般論として展開されていて どこの市町でも使える内容です。この段階ではコンテンツとして組み込んでよ という意味あいでしょうから仕方ないのでしょう。 追加すべき方針7として『全市民が10 - 20年後の八王子の具体的な絵（○か か□かなど）を頭の中にイメージできるようなコンセプトを作れ』と入れるべきでした。 近隣の町～外国の見習いたい自治体はどのようなテーマ設定し展開してきたのか、その結果現状は？などのベンチマークを入れた方が良かったと思います。

パブリックコメントに対する意見一覧 令和4年（2022年）10月3日正午時点

変革のキーワードに関するご意見（4件）
行政面ではDXという言葉に踊らされ、超先進的なことに着手するのではなく、周りからそれがDX?と言われたとしても、とりあえず紙での申請を減らす、公立学校におけるテストやアンケートのペーパーレス化・Web授業でも出席扱いにする等、泥臭い部分に注力した方が、後々プラスになると思います。
まず、そもそもデジタルトランスフォーメーション(DX)というような言葉自体の意味を理解できないようです。私の周りの高齢者は皆さんカタカナ用語がわからない、ついていけない、取り残されてしまったと嘆いています。
DXも大切ですが、例えば稟議書の多重化等々、まずIT化が実現しているのか、疑問を感じています。
C02については日本はもう十分できていて大規模工場等が取り組む話で、国の手前、話し3分の1くらいでいいと思います。

施策に関するご意見（14件）
都市像1「みんなで担う公共と協働のまち」を実現するための施策に関するご意見
国の事業ではありますが、マイナンバー制度を有効利用できるよう推進していただきたいです。引越し、結婚、出産、転職、死亡など、届出一つで煩雑な手続きが出来ることが理想です。それに伴い、お年寄りが取り残されないよう配慮をお願いします。
都市像2「健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち」を実現するための施策に関するご意見
—
都市像3「生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち」を実現するための施策に関するご意見
所得制限の撤廃 23区が実施している18歳までの医療費の所得税の撤廃やその他、大学の奨学金等の所得制限を無くして、子共を親の収入で分けるのではなく一人の人間として平等に扱ってほしいです。
子育て世代への負担軽減策 国が廃止した年少扶養控除に変わる控除の制度の復活をお願いします。八王子市に住んでいる子育て世代が安心した生活が送れるよう、また、八王子市に住み続けたいと感じるような環境作りをお願いします。
別所エリアに引っ越して1年半、八王子市の端っことはいえ、ある程度の住民がいるのにスポーツ施設等の市のサービスが少ない気がしています。 まあ、まんべんなくというのは難しいと思うので、仕方ないとは思っておりますが。
学生さんの自学習、催し、集会を無料でできるような環境が少なく感じます。 八王子は図書館も少ないですし、無料で自習できる場所が少ないせいか、カフェなどで勉強している方をたくさん見かけます。自宅以外にも集中して自学習できる場所が必要だと思います。 武蔵野市では市のコミュニティセンターが充実していて、自学習をできる環境が整っています。 視察などをして参考にしていただけると一目瞭然だと思います。
私は他自治体の公共図書館で、業務委託された会社員として勤務している者です。 原案を読み、それに照らして現在体験的に感じていることを記します。 施策18:学びの循環を生み出す生涯学習の推進 訪れる利用者は他市住民を含め、生涯学習の場であることを日々実感しています。 が、そこで思うのは、生涯学習のみならず、福祉的要素も図書館には強く求められている、という状況がある、ということです。 原案の後半、課題にあるように、市民生活、市民構成における問題の多様化、複雑化、重層化、は著しいものがあります。たいへん大雑把に言えば、俗にいう縦割り行政の弊害で、民間であれば横断的に解決できる問題が、不要に重層化、複雑化を招いている面もあるのではないのでしょうか。 福祉に繋げたいのに直ぐに繋げることができない、という出来事、そこには「個人情報」というもうひとつの壁もあり、個人を守りつつ疎外している、という矛盾も生じています。 教育現場(学校)との連携も余りないようで、資材は豊富にあるのに活かされていない、と感じます。
都市像4「安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち」を実現するための施策に関するご意見
自動車を中心に使われる交通政策から公共交通機関やオンデマンド交通、を基盤にしたMaaSの本格的な導入を行ってほしいです。現在八王子市が保持している交通資源は豊富でありながら、有効活用できていない印象(乗り継ぎの待ち時間が長い・駅前にタクシーが集中している)を受けています。そのため、八王子が主体としてMaaSにて得られる情報やデータを用いて、今までと大きく変化するモビリティ新時代に対応してほしいと思います。
<市民が安心・安全に暮らせる街作り> 市内には狭くて危険な道路が多数箇所存在しますが子供達、高齢者そして全ての市民の安全な生活のために2040年を目標に危険箇所を一掃することを目指してください。歩行者、自転車、車椅子などの安全な通行を実現するための道路の改善、段差の一掃バリアフリー化を目指し小さな子供から高齢者まで安全で安心して外出できる町づくりを目指してください。先進国の道路として景観は最悪ですので市民が誇りを持てる景観作りも同時にお願いします。まずは要改善箇所のリストアップと改善計画の立案から。

パブリックコメントに対する意見一覧 令和4年（2022年）10月3日正午時点

都市像5「魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち」を実現するための施策に関するご意見
MICEの誘致については、八王子市では厳しいと思います。ドイツのフランクフルトやケルンをご覧くださいと分かるとはと思いますが、会議場や見本市会場、宿泊施設、交通機関などの規模を整えるのは敷地的にもムリがあると思います。江東区や横浜市にお任せでいいと思います。 むしろ、爆発するであるインバウンド需要を上手に取り込むべく、早急に高尾エリアに超高級宿泊施設を誘致する検討をした方がいいと思います。外国人向けのガイドをしている友人に聞くと、都心でさえも宿泊施設がしょぼくて困っているそうです。秩父でも観光地としてのポテンシャルはあるものの、昔ながらの旅館しかなく、お金を使ってくれる富裕層が来日にしても連れていけないとぼやいてました。高尾エリアの自然は、日本好きな外国人にも楽しんでもらえると思います。湖などの水辺がないのが残念ではありますが。
もし、起業に力を入れるのなら、多くの大学が誘致できているので、大学発のベンチャーを支援できる施設を用意して、それにより近隣に住む若年層も増えると思います。
都市像6「一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち」を実現するための施策に関するご意見
—
複数の都市像に関連するご意見
時代の移り変わりで、スーパーや商店の閉店により買い物難民の地域ができています。市の後押しで、移動販売のための車を購入して委託販売してもらうなどいかがでしょうか。
<伝統文化・工芸を維持・継承・発展させるための街（地区）作り> 日本全体の課題として伝統文化、伝統工芸、町工場（日本の高度成長を支えてきた）などの維持継承であります。八王子にも八王子織物、八王子車人形、独自技術を持った町工場など多くの守るべき伝統、技術を保有していますがその維持継承は簡単ではありません。町工場は大企業の下請けではなく生き残れる道を模索し挑戦しています。そこで八王子市内に伝統文化・技術継承のための街（地区）を作り集約することでお互いの伝統を有機的かつ効率的に結びつけ新たな発展を目指すべきであると思います。街（地区）の景観も昭和の雰囲気醸し出し（または逆に21世紀にふさわしいモダンな雰囲気）飲食店・お土産店なども集めれば都心から気軽に来られる観光地とすることもできます。場所は他の観光地（高尾山等）の近くで相乗効果を狙うのかまたは八王子駅から徒歩圏が良いのかは十分議論して決めれば良いと思います。拡張案として都内に点在する伝統工房、町工場などを誘致し都内の名所とすることも考えられます。若者が興味を持つきっかけとなり継承者の育成、雇用の拡大につなげて八王子市の発展に繋がれば良い相乗効果が期待できます。
「地域産業である製糸織物産業を地球に優しい未来型産業へ」 2040年に八王子市が目指す未来都市像の施策の中で、特に都市像5（魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち）、都市像6（一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち）実現のための私のアイデアを提案します。 八王子市は、古くから製糸織物産業が栄えてきました。この産業の持つ特徴を生かして未来に向かって更に発展させるカーボンゼロ、無排水工場による地域産業発展の提案です。本提案の実施により、八王子ならではの地球に優しい未来型産業として製糸織物産業を発展させることができると考えます。 具体的には、以下のとおりです。まずは太陽光発電を使って発電し、その電気で製糸織物を生産します。余った電気は、水の電気分解に利用して水素を造ります。次に水素を燃焼させ、その熱で工場から排出される排水を蒸発コンポスト化します。残った固形物は、肥料として植物の育成に利用し、育った植物は大気中の炭酸ガスを吸収します。製糸織物工場の排水には多くの有用な有機物（アミノ酸など）が含まれているので、とても良質の肥料になります。一方蒸発させた排水の水は再び冷却して水に戻し、水素製造に再利用し循環利用します。冷却に使用した水は温水となり、植物育成のための温室の空調熱源に利用します。これにより、排水を出さない無排水生産が可能となります。
みんなで目指す2040年の姿 に関連する施策を提案いたします。細部詰められていませんが、できることがあれば何が行動を起こしていきたいです。 提案内容：産業上発生する食品ロスを転換し、若者と働く親にも豊かな食を。 食品メーカー、流通業者の集まる八王子市には、日々消費しきれない食品（主に原材料）ロスが発生している。現状、フードバンクへの接続も不十分で、廃棄に回さざるを得ない状況。 子ども食堂の機能を高校、大学の食堂に導入。 食材を で集め、自由に食事が得られる環境の創出を図る。給食システムは取らず、できる量、できる範囲からスタート。 コロナ禍で失われてしまった、一緒に食事を取り、対話する豊かさを再創出する。働く親の増加で、弁当準備、栄養バランス不足に悩む家庭も支える。

その他のご意見（2件）
長期ビジョンに共感しました。自治体が明確な目標を示すことは重要だと思います。
他市に住んでいる私にとって、八王子市は各分野においてとてもユニークで先進的な政策を実施しており、大変魅力的な『まち』だと学習を通じて印象を受けています。今後も八王子市の政策や行動を『一市民』として見ていきたいと思います。